

とうきょうすくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-0601
施設名	きたしば保育園
施設所在地	西東京市芝久保町2-14-14
法人名	社会福祉法人 聡香会

1.活動のテーマ

<テーマ>

新しい菜園を作る

<テーマの設定理由>

子ども達の話し合いで出てきた現状としては、「種や苗を植えても、あまり収穫が出来ていないという意見が出た。また、旧菜園が園者から離れた場所にあることで子どもたちの興味の対象になりづらかったこと、

2.活動スケジュール

令和6年8月20日～令和7年3月18日

3.活動のために準備した素材や道具、環境の設定

・図鑑 ・メジャー ・スコップ ・ジョウロ

4.探求活動の実践

<活動の内容>

- ・旧菜園の問題点についての話し合い
- ・旧菜園の手入れ
- ・新しい菜園の候補地についての話し合い
- ・新しい菜園の場所の決定
- ・新しい菜園を作るにあたっての探寸

<活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり>

・菜園の問題点を話し合った際に、「暑さが厳しいから活動が出来ない」「菜園が遠くて見る事が出来ない」と言った環境や場所の問題が子ども達からも出たことが印象的だった。また、新しい菜園の場所の候補として保育者から「保育室から見える場所はどうか？」との提案をしたところ、ほとんどの子が賛同していた。畑の規模や場所と言った事に関しては施設側都合もあった為大人からの提案が主だったが、場所を決めた後は子ども達が実際にメジャーを使っておよその位置を延長に伝える等「自分達で作る」という意識が芽生えている事がうかがえた。

*子どもの活動の様子は別紙参照

5.振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

話し合いを始めた最初のうちは、新しい菜園というイメージがなかなか出来なかったようだったが、実際に園庭に出て頑丈ある菜園を見たり、移設をする予定の場所を見る事で徐々に子ども達から出てくる意見やイメージが広がってきたと感じた。これにより、話し合いや図鑑などの情報も大切ではあるが実際の体験という事の大切さを改めて感じる事が出来た。子ども達が体験の中から意見を出し合うことや、更にその話し合いをもとに活動するというサイクルを他の場面でも活かしていきたいと思った。

すくわくプログラム「新しい菜園を作る」

【導入】菜園の現状についての話し合い

○子ども達の話し合いで出てきた現状としては、「種や苗を植えても、あまり収穫が出来ていない」という意見が出た。

○それを踏まえての話し合い

※以下子ども達との実際の話し合いの記録の為平仮名表記となっている。

●しゅうかくがあまりできなかったのはなんで？

- ・そとがあつすぎて、えんていにてることができなかった。
- ・からすにたべられてしまった。
- ・なかなかさいえんにいけなかった。
- ・さいえんがおへやからとおいから、ようすがみえなかった。



●どうしたらさいえんかつどうがもっとできる？

- ・ひざしをかくす。テントをたてる。
- ・もっとさいえんにいけるとよい。
- ・ねっととかをはって、からすにたべられないようにする。
- ・さいえんがもっとちかくにあったら、おへやからもようすがみられる。

●あたらしいさいえんをつくるにはなにがひつよう？

- ・つち ・さく ・きのぼう ・すこっぷ
- ・とんぼ ・くわ ・ひりょう ・めじゃー（さくをつくる時にひつよう） ・ぶろっく

●はたけをつくるために、やらなければいけないこと

- ・あなをほって、あたらしいつちをいれる。
- ・ひりょうをいれる。
- ・くわせたがやす。
- ・とんぼでたいらにする。

●はたけと、はたけじゃないところをわけたほうが、とおりやすい。そのためになにをする？

- ・さくをつける。→ブロック きのいた いし
- ・はたけをすこしたかくする。

前回の話し合いから少し間が空いてしまった事もあり、「(菜園を移設するにあたって)まず何をしたら良いかな?」と言う保育士の声掛けに「今まで使っていた菜園を綺麗にしよう」との意見が出ました。夏の間なかなか戸外活動が出来なかったという事もあり荒れ放題だった菜園の草むしりをみんなで行いました。



菜園の雑草抜きをしました。虫も沢山いて歓声が沸き上がっていました。



菜園はここまできれいになりました！！

前回の草むしり後に園長先生より工事の日程が11月15日になると伝えられました。そこで子ども達は「菜園ってどのくらいの大きさになるのかな?」と保育者に問いかけてくれました「だいたいこのくらいになるって聞いたよ」と答えると「じゃあ測ってみよう!」との声がありました。みんなそれに賛同し実際に園庭の菜園設置予定の場所に出て計測を行いました。



子ども達の測定をもとに完成した菜園でしたが、実際に見に行った子ども達から「これで野菜植えられるのかな?」との声がありました。それをもとにみんなで話し合いを行ない「なんで野菜が植えられるか心配なのかな?」と保育者が尋ねると「(さつまいもを植えた)農園となんか違う」「山みたいのが無かった」との声が挙がりました。また、「なんか土が固まった」との声も。「じゃあどうする?」との保育者の問いかけに「みんなで土を柔らかくして山みたいの作ったらいいと思う!」と言う意見で一致しました。



「なんか土が固いね・・・」



最後は肥料も混ぜ込んで畝づくりを終えました。

昨日つくった畝に早速種をまきました。きっかけは「先生のお家でも大根育てているんだ」という話を覚えていた子ども達から「菜園が出来たから保育園でも大根作りたい!」との申し出でした。大根の種まきには少し時期が遅いとも感じましたが、「(出来なくても良いから) やってみようよ!」という子ども達の意欲を感じ実際に種まきを行いました。



「大根の種ってどのくらいの大きさだと思う?」という保育者の問いかけに「このくらいかな?」と子ども達。実際の種の大きさを見て「こんなにちっちゃいんだ!」とびっくりしていました。



畝が完成したらいよいよ種まき。大きく育つことを願ってみんなで丁寧に蒔きました。



みんなで植えた大根はまだ芽を出ませんが、しっかり水やりも行っています。



練習が終わった後は園庭で体を動かして過ごしました! 大根の水やりは欠かせません。

年未年始のお休みも終わり久しぶりにみんなが保育園に戻ってきました。そんな中「先生！畑に何かある！」との声が。すかさず他の子も「芽が出てるよ！」なんと11月に植えた大根が今になって芽を出しました。



菜園を見てびっくり！11月に植えた大根が今頃になって芽を出していました！



慌てて水やりを行なう青さん。大きく育ってくれるようお世話をしてくれました！

4歳児

春から始める菜園活動の準備を行ないました！



前回大根が枯れてしまった理由をみんなで話し合った黄色さん。その一つとして土が固かったことがあがっていました。



今日はみんなで土の状態を確認しました。



菜園の土を触ると、「なんか固い」「冷たいね」「茶色いのもある」など子ども達は沢山の発見をしたようです。



「この畑どうしたら良い？」との保育者の声掛けに「みんなでさらさらにしてよう！」と固まった土を潰し、サラサラの状態にすることになりました。



「石もあった！！」畑の土をじっくりと観察した黄色さん。



最初はぼこぼこ状態だった菜園。作物を育てる事の出来る状態に近づいてきました。

・その後残念ながら寒さと日照不足により大根は枯れてしまいましたが、子ども達は「もう少し温かくなったら何か植えられるかな？」と次の作物を作る意欲を口にしています。今回大根が育たなかったのは何故だったのかを子ども達と考えると上記のような事が子ども達の意見として出てきました。

・今年度の活動としてはここまで終わりますが、来年度に向けさらに子どもたちとの話し合いを進めていきたいと思っています。